

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

美しい 県土づくりNEWS



岩手県県土整備部広報誌
美しい県土づくり NEWS 創刊号
平成 16 年 8 月 1 日発行
編集 県土整備企画室

CONTENTS

Page 2	● 今月の人 県土整備部長 橋本義春
3	● 特集 県民参加による県土づくり
5	● 現場情報
7	● 県土整備 TOPICS
8	● データウォッチング トンネル延長 ● 土木建築作品 北上大橋 (川崎村)
9	● インフォメーション

物流を支える幹線道路、整備中！

一般国道 283 号仙人道路地区(遠野市)



県土整備部では、創造力あふれ活力がみなぎる産業が展開する社会実現のため、物流を支える幹線道路を整備するなど、産業活動を支える基盤づくりを進めています。

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

◎ 今月の人

父親の域

県土整備部長 橋本義春



県土整備部長を拝命して4ヶ月が経とうとしておりますが、日々新たな体験に感動と責任の重さを感じながら勤めております。

職員の皆様におかれましては第二四半期に入り、上半期発注目標達成に向けて業務に拍車を掛けていただいておりますことと感謝を申し上げます。

現在、行財政構造改革が進められておりますが、当部でも汚水処理や道路、海岸、砂防施設整備など庁内各部において実施している類似業務を統括し、組織や企画担当の一元化などについて検討を行っております。また、昨年度の政策評価を行っているところであり、その成果をもとに来年度の重点施策を立案していくこととなりますが、40の政策に直結する業務が少ない当部にとりましては厳しいものが予測されます。

今年度も振興局土木部長等の出席をお願いし、サマリーレビューを予定しておりますが、地域の皆様の要望やご意見を反映すると共に今後総合政策室から出される重点化にかかる情報を的確に捉えご検討を頂きたいと思っております。

さて、8月は盂蘭盆の月でもあり先祖の墓参のため実家にお帰りになったり、この機会に旅行される方などがいらっしゃると思いますが、それまでに業務に区切りを付けられまして是非この間は仕事を離れ鋭気を養って頂きたいと思っております。

私事ですが、7月に連休を利用して中学校の同期会に出席してきました。43年ぶりに再会した友人もあり、一変に時代を遡るタイムマシンに乗って、懐かしい故郷の風景や時代背景と一緒に忘れていた様々な事、悪戯して怒られたり授業をサボって先生に殴られたりしたことなどを思い出す事になりました。

近年、物忘れ症候群に罹っている私にとって、この日は昔のことは忘れずに覚えていた我が父親の域に達したなあと感じた一日になりました。

ともあれ、皆様におかれましては移動等にあっては交通事故に十分ご留意の上、楽しい休暇をお過ごしいただきますようお願いいたします。

特集

県民参加による県土づくり

NPOや地域団体との協働事業について紹介します。詳しくは「県民参加・NPO等協働通信」をご覧ください。

16年度県土整備部における主なNPOとの協働事業

No.	NPO名	事業名	事業内容	担当課
1	循環資源デザインネットワーク 他5団体	ともだち・川・交流サポート事業	県の管理する河川、ダム、海岸をフィールドに、子どもを主役とした連携活動が活発になるよう、活動を企画・運営する地域活動団体に活動費を補助。 【循環資源デザインネットワーク事業概要】 1. 実施時期 7月～8月 2. 実施場所 早池峰ダム湖及び山村文化交流館 3. 事業内容 ①カヌー試乗体験、②カヌースクール、③早池峰ダム探検隊	河川課
2	いわてNPOセンター	土砂災害危険防止対策住民意識調査事業	土砂災害対策における住民意識調査を実施する。 ① 住民聞き取り調査 ② 懇談会(3市町村、各1回) ③ 意識調査とりまとめ	砂防災害課
3	花巻文化村協議会	花巻広域公園の利活用促進事業(地域活性化調整費)	1 利活用促進イベント「ぎんがのもり 夏まつり」 ① 実施期間 16年7月19日(月・祝) ②場所 花巻広域公園 ② 内容 フリーマーケット・屋台村・ウォークラリー等の開催 2 利活用促進ワークショップ ① 公園の魅力検証、②整備・運営・管理手法の検証 ② 提言案策定に向けた合意形成等	花巻地方振興局土木部
4	※現在、委託NPO(5団体程度)を募集中	地域の景観点検	1. 実施期間 平成16年7月中旬～10月中旬 2. 委託内容 ①点検区域内の住民により現地踏査を行い、優れた景観(景観資源)と見苦しい景観(景観阻害要因)を抽出、整理して、地域景観マップ、リスト等を作成。②10月頃までに、点検活動を報告書にまとめ、実施報告書及び報告概要書を作成。③景観に関するフォーラムの開催	都市計画課
5	岩手で茅葺き技術の伝承を促進する委員会	御所湖広域公園南部曲がり家茅葺き屋根葺き替え事業(仮称)	1. 南部曲がり屋の補修(茅葺屋根の葺き替え)移築から30年近く経過し、老朽化が著しい南部曲がり屋の茅葺屋根をNPOに委託し葺き替える。 2. 公園の利活用に関するワークショップ 公園の利活用計画及び維持管理計画の策定作業	盛岡地方振興局土木部
6	緩衝緑地をつくる会(仮称)	花巻空港緩衝緑地整備事業	14年度、15年度と花巻文化村に委託し花巻空港緩衝緑地管理手法のワークショップを開催してきたが、地域住民・事業関係者からの意向により従来の「草の根懇談会」を「NPO(仮称)緩衝緑地をつくる会」として設立させ、管理手法等について検討することとなった。	港湾空港課

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

美しい
県土整備 TOPICS

こんなことがありました…



森と湖に親しむ旬間 プレイベント
7月2日(金)、3日(土)

7月2日(金)と3日(土)の二日間にわたり、盛岡市の中津川河川敷と「プラザおでっ」を会場に、いわての森・川・海条例制定記念「森と湖に親しむ旬間」プレイベントが開催されました。

このイベントは、同条例の施行を機に、河川を軸とした上下流域の相互理解の推進と、県内企業等による環境や新技術への取り組みを紹介することにより、安全で楽しい水辺や森林の利用促進について理解を深めてもらうために企画されたもの。

当日は、1500人を超す方々が会場を訪れ、サラリーマン転覆隊の本田氏の爆笑河川トークや、展示ブースで紹介されていた資源循環の取組みや川の上下流連携の取組みを見学した。



豪華客船「飛鳥」入港
7月21日(水)

7月21日、大船渡港の野々田埠頭に、日本最大級の豪華客船「飛鳥」(郵船クルーズ、28,856トン)が入港しました。飛鳥は、穏やかな湾内をその巨体を滑らせるように航行。まさに浮かぶホテルのような威容でした。大勢の市民が、郷土芸能などで歓迎。首都圏などからの乗客約530人は市内観光や平泉や遠野などへのバスツアーを楽しみました。

大船渡港への寄港は、13年連続の17回目となりました。これだけの寄港は全国でも珍しく、飛鳥と大船渡港と縁の深さを物語っています。

岩手県への今年度の豪華客船の寄港は、このほかに「ばしふいっくびいなす」(びいなすクルーズ、26,518トン)が、大船渡港と久慈港に寄港する予定となっています。



平成16年度両磐地区合同水防演習を実施
7月25日(日)

7月25日(日)に一関市総合体育館(ユードーム)西側において、両磐地区合同水防演習を行いました。これは、出水期をむかえ水防体制の充実強化を図るとともに、水防意識を高め水防団員の技術を強化するため、北上川流域の関係機関が合同し、毎年行っているもの。

当日は両磐地区の水防団関係者約570名、ボランティア参加の高校生約70名、地域の自主防災組織約100名、一般見学者約150名が参加。

会場では、両磐地区の水防団による水防工法実演やポンプ車による排水訓練、応急橋架訓練のほか、高校生と水防団が協同して積み土のう工法の演習が行われました。



河川愛護団体感謝状贈呈式
7月29日(木)

7月29日(木)にホテル東日本において、河川愛護団体等感謝状贈呈式が開催されました。これは、県が管理する一級河川と二級河川について、地域における河川環境の美化保全活動や河川愛護活動の一役を担っている個人や団体を表彰するもの。

当日は、12年間滝名川河川敷や堤防の草刈を行ってきた阿部喜六さん(紫波町)、14年間仲居川堤防の草刈を行ってきた松里昇さん(大迫町)、13年間馬淵川河川敷の草刈を行ってきた晴山町内会(二戸市)が橋本部長から感謝状の贈呈を受けました。

平成

令和

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

▲ 平成16年(2004年) 8月号: ✨ 創刊号 ✨

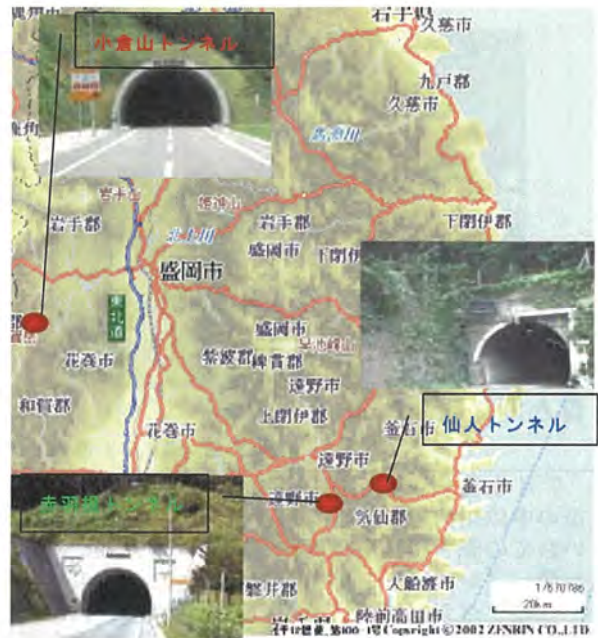
データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧になれます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

トンネル延長のベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長	単位：m
1	国 283号	仙人トンネル	2,499.0	
2	国 340号	赤羽根トンネル	1,998.0	
3	主 花巻大曲線	小倉山トンネル	1,765.0	
4	主 盛岡横手線	山伏トンネル	1,282.0	
5	国 106号	下達曾部トンネル	997.0	
6	国 396号	小峠トンネル	995.0	
7	一 宮古港線	小山田トンネル	875.0	
8	国 397号	種山トンネル	870.0	
9	国 397号	赤金トンネル	855.0	
10	国 107号	白石トンネル	807.7	



土木建築作品

Vol.1 北上大橋
KITAKAMI OHASHI

県民に親しまれてい
る文化的価値の高し
土木建築作品を紹介
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（主盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（主花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介し

【北上大橋】先代の橋は、昭和9年に着工し、平成11年7月、あと9mで完成という時、増水のため足場もろとも流されました。再度架橋に取り組み、昭和13年に完成しました。全長204mの当時としては極めて斬新な形式のブレースド リブタイプ アーチ橋でした。

現橋は、平成6年に着手し、15年春に完成しました。旧橋のイメージを残しつつ、力学的に無理のない構造を追求した結果、非常に優美な景観を得ることができました。この新橋は、ベント設置による自走式クレーンの片持ち架設でコスト縮減し、優美な構造と併せて評価され、16年6月に、土木学会田中賞作品部門賞（注釈）を受賞しています。

北上川に架かる橋には、それぞれ固有の歴史があります。地域間交流に寄与するばかりでなく、地域のランドマーク的存在でもあり、大河北上川に隔てられた兩岸を結び、岩手の交流物流を支えてきた岩手の歴史と文化に深く結びついた建造物の数々ではないかと思えます。

※ 田中賞とは

「田中賞」は、橋梁・鋼構造工学会の権威者であり、日本の橋梁界・鋼構造界の育ての親である故田中豊博士の功績を偲び、昭和41年に土木学会賞の一つとして発足したものです。「作品部門」では、設計者や施工者などではなく、あくまでも作品である橋などが表彰されます。県内では、昭和55年に北上市にある第二孫屋敷架道橋（日本国有鉄道）が受賞しています。



次世代にその優美な姿を引き継ぐ北上大橋の全景

地元の子供たちからのメッセージ紹介 「川崎村のシンボル」

川崎中学校2年 和泉日向子

全長482メートル、青緑色で、がっちりした、なんともたくましい北上大橋。

これから川崎村がどんな試練にみまわれようと、きっと、この村のシンボル北上大橋は私たちをいつまでも見守ってくれるのだと私は信じています。そして、これからの川崎村の歴史をたくさん刻み込んでいくことと思います。 出所：「北上大橋物語」より